

## 平成23年度第1回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成23年5月12日（木）午後2時～4時30分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：10人 傍聴者：なし  
事務局：教育長、教育部長、中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、  
館長補佐兼調査係長、花小金井図書館長、サービス係長、資料係長、  
仲町図書館長 計9人
- 4 配付資料 資料は省略させていただきます。
- 5 委員任命式（委員任命書の交付）
- 6 教育長あいさつ  
期間の2年間、委員の皆様には貴重なご意見ご提言をお願いしたい。
- 7 教育部長あいさつ  
例年と違った課題を抱えながら新年度をスタートしている。一つは震災による職員の災害地派遣、もう一つは電力不足による節減対策である。また、国の復興に向けて予算の見直しによる事務事業の見直しという影響が出てきている。さらに図書館の大きな事業としては、仲町公民館・図書館の建替えがある。基本設計が昨年度終わり、今年度は実施設計を行い平成26年度の早い時期のオープンを目指している。  
図書館においても、図書館に何を求められているのか、どうすれば利用者が増えるか、また、いかに満足度の高い図書館運営をしていくか、職員が常に考えていかないとチャンスを逸してしまうことが多々ある。委員の皆様には貴重なご意見をいただきながらより良い図書館運営を進めてまいりたい。
- 8 委員及び職員の紹介
- 9 会長及び副会長の選任について  
会長 落合美代 氏 副会長 大沼晴暉 氏
- 10 議事  
【参考資料の確認】
  - ・小平市図書館協議会委員名簿（資料No.1）
  - ・平成23年度図書館協議会開催日程（資料No.2）

- ・平成23年度小平市立図書館事業計画（資料No.3）  
昨年度3月の図書館協議会で承認済み

(1) 報告事項

①職員の人事異動について（資料No.4）

図書館は14人の異動。このうち図書館内異動3人、新人職員2人。

②図書館運営状況について（資料No.5）

- ・図書館事業等の報告と今後の予定について

(これまでの報告)

3月19日～3月31日まで 地震に伴う節電協力及び市職員の緊急応援体制に取り組むため、休館。その間の子ども科学講演会、小学生調べ方教室は中止。

- 4月 2日 4月より開館（1日は休館日）開館時間午前10時～午後5時  
「こだいら子ども読書月間」 ～5月5日 市内全図書館  
布の絵本の展示 ～5月5日 中央図書館  
ギャラリー展示「ポップアップ絵本」 ～6月12日 中央図書館
- 4月14日 学校図書館協力員（小中学校）研修 中央図書館
- 4月18日 この週より通常時間での開館
- 4月23日 子ども文庫まつり 中央図書館視聴覚室
- 4月24日 「布の絵本・遊具であそびましょう！」（拡大写本の会ひまわり）  
中央図書館
- 4月26日 小平市子ども文庫協議会定期総会 中央図書館

(今後の予定)

- 5月14日 読み聞かせ実践講座 第1回 中央図書館
- 5月20日 学校図書館司書教諭等連絡協議会（第1回）
- 5月25日 中央図書館見学（学園東小3年）
- 5月26日 読み聞かせ実践講座 第2回 中央図書館
- 6月 2日 読み聞かせ実践講座 第3回 中央図書館
- 6月 7日 蔵書点検～10日（花小金井・小川西・喜平）
- 6月11日 スライド講座「C・S・ルイスとナルニア国物語」池田正孝氏  
（子ども文庫連絡協議会・図書館主催事業）中央図書館
- 6月13日 蔵書点検～17日（中央・各分室）
- 6月16日 大沼図書館見学（七小3年：午前）（十一小3年：午後）
- 6月19日 おはなし会父の日スペシャル 喜平図書館
- 6月21日 蔵書点検～24日（仲町・上宿・津田・大沼）
- 6月23日 学校図書館協力員（小中学校）研修 中央図書館
- 7月 5日 図書館・学校図書館連絡会議 中央図書館

・平成23年度月別貸出状況について（資料No.6）

まだ4月分の数字だが、全館合計で137,679点となっている。前年同期に比べ、約5,000点の増となっている。3月の休館の影響でその分4月初増えたと考えられる。4月2日（土）の貸出者数は、全ての図書館で利用者数は通常と比べ約2倍だった。今後、第3回、第5回、第6回の協議会で同様の報告を行う。

・平成23年度広域利用市別貸出状況について（資料No.7）

貸出者数、貸出資料数ともに東村山市民の利用が多くなっている。

③平成22年度図書館事業報告について（資料No.8）

・貸出資料数は、77,051点減少している。3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響で、開館時間を短縮し、また、3月19日から31日まで、約2週間休館したことが、減少の大きな原因と考えられる。今年の3月と比較すると、貸出数は約半分になっている。それらの影響がなければ、昨年並みの貸出数となっていたと思われる。

・図書館購入冊数は、前年と大きく変わっていない。

・所蔵資料は、昨年度から約10,000冊減っている。22年度は、仲町図書館の建替えに備えて、仲町図書館の閉架書庫の図書を各図書館に移管し、各館の以前からの所蔵資料と併せて、汚損・破損本や複本の除籍を積極的に行なったことにより減少した。

・リクエスト数については、3月貸出資料数、貸出者数が減少しているにもかかわらず、前年度と比較して975件増加している。

・相互貸借関係は、都立図書館からの借用が減り、多摩六都・三多摩・23区からの借用が増えている。

・図書館協議会の活動報告では、仲町公民館・図書館の建替えに関して第2回協議会から毎回報告した。

④平成23年度蔵書点検について（資料No.9）

・例年どおり6月に実施。3つのグループに分けて実施するため、貸出等はどこかの図書館でできるが、リクエスト本の移送は点検後となる。全館ブックポストが利用できるため、この期間について貸出期限の延長は行わない。

・平成21年度から閉架書庫を先行実施し、閉館日数を短縮している。

⑤平成23年度司書講習への職員派遣について

・亜細亜大学へ3名派遣予定。

⑥平成23年度ブックリサイクル事業について（資料No.10）

・10月22日（一般書・児童書）、1月21日（雑誌）、2月18日（一般書・児童書）の3回を予定している。

< 報告に対する質疑・応答 >

- 委員： おはなし会の開催時を含めた図書館の震災時の対応について、避難経路の確認や避難誘導に対して嘱託職員も含め徹底してもらいたい。また、子ども文庫以外でも図書館で活動しているボランティア団体へも避難経路等を周知してもらいたい。
- 事務局： 各図書館で防災訓練を実施しているが、避難経路の確認、避難誘導等について、職員、嘱託職員に対し周知徹底していく。
- 委員： 震災後、図書館を利用した時、余震があり中央図書館では職員が誘導し、「書架の間から出て下さい。」と声をかけていた。利用者の一人としては、問題はなかったと思う。
- 事務局： 実際に震災後の余震があった場合は、事務室のラジオで確認し、館内を声かけして回った。今後のこともあるので、再度職員には、避難経路やそれぞれの担当を再確認することを周知徹底していく。特におはなし会は、子どもたちが集まる場所なので安全管理をしっかりとやっていく。
- 委員： 休館と夜間延長の中止について、市民からどのような意見があったのか。こういう震災の後には、情報の拠点なので過去に起きたチェルノブイリや三陸沖の津波について本を読んでみたい、勉強したいという市民の要望があるのではないかと。小平市全体で決まったことと言うのはわかっているが、夜間開館はしないまでも、図書館は開館してほしい。
- 事務局： 問い合わせは多かった。休館の経緯については前回の協議会でも報告したが、市の災害対策本部の決定ということで公共施設を閉館し、節電に努めることと、職員の応援体制を組むということで救援物資の受け付け等を行った。市民からの問い合わせ等は前半は、「こういう時だから、みんなで協力し合って災害に対応することが必要だ」等の理解をしていただいた意見が多かったが、後半は、「図書館はいつまで休んでいるのか。利用したい」というような意見が多かった。図書館としては情報の拠点でもあるので、できるだけ開館したいという気持ちはあったが、今回はこのようなこととなった。
- 委員： 平成23年度事業計画の3ページ(5)⑦地域資料のデジタル化について、今年度実施するのか。新聞切り抜き事業が事業仕分けで廃止となったと聞いたが、4月以降はどうなっているのか。
- 事務局： 平成22年度事業仕分けで廃止となったが、図書館としては、新聞切り抜きは、図書館の資料収集の大切な仕事の一つと説明している。予算化して行なうのではなく、やり方を見直し、引き続き最低限の必要な項目は進めているところである。
- 委員： 平成23年度事業計画の3ページ(3)「電子出版物を収集する。」と書かれているが詳しく聞きたい。
- 事務局： この件については、「収集について研究する。」としており、先進図書館の動向を見ながら今後のサービスを考えていきたい。
- 委員： 電子出版の現状は、成人対象の漫画がほとんどと聞いている。公共図書館としてどこまで収集していくのか、たとえば、紙の書籍として出版されたものが電子書籍にな

った場合のみ集めるのか。ただ、それを読むリーダーを図書館で用意するのはおかし  
いと思う。どんなイメージを持って収集していくのかを聞きたい。

事務局： 公共図書館として、さまざまな動向を見ながら考えていきたい。

委員： 平成23年度事業計画の4ページ(10)「第2次小平市子ども読書活動推進計画」の  
広報・啓発等で、「進捗状況は図書館ホームページ公表します。」と書かれているが、  
いつから掲載されるのか。

事務局： 関係各課の状況を集約しているため、もう少し時間がかかる。図書館ホームペー  
ジのトップページから入れるように考えている。

委員： 「第2次小平市子ども読書活動推進計画」の公表は、図書館ホームページだけでは  
なく、図書館だより等も利用して広報してもらいたい。

事務局： 図書館ホームページ以外の広報についても検討していきたい。

委員： 情報発信と言われているが、情報受信については、各図書館でどのように行なっ  
ているのか。例えばテレビが各図書館にはあるのか。

事務局： 図書館には、原則テレビは設置していない。公民館、出張所があるところは設置し  
ている。ラジオは各館にあるので、必要な場合はラジオを利用している。

委員： 最近、余震等が多く、テレビで地震予報が出る。図書館でもテレビの地震情報を利用  
できるような受信体制ができれば良いと思う。

事務局： 現状では、テレビを設置するのは難しいと考える。

委員： 市長マニフェストで国分寺市との連携を検討するとなっているが、報告では触れて  
いなかったもので、説明してほしい。

事務局： 平成23年度事業計画の2ページ(1)の推進事項に⑧「国分寺市との相互利用を  
検討します。」と記載してある。進捗状況は、昨年夏ごろから3回程度相互利用につ  
いて話し合いを持っている。なにぶんにも図書館だけで決められるものではなく、市  
全体の公共施設のあり方が関係してきている。したがって、図書館ですぐにという状  
況ではない。話し合った結果は、政策課に報告している。今年度も継続して話を進め  
るつもりであるが、相手があるものなのでスムーズな進行にはなっていない。

会長： 小平市としては、積極的に進めたいが、相手先がどうも積極的でないように聞き取  
れるが、実際のところどうなのか。

事務局： 国分寺市の図書館がというより、国分寺市全体が公共施設の連携ということで、図  
書館だけではなく、他の施設も含めてという意向もあるようだ。

委員： 国分寺の方が新刊を持っている確率が高いと聞いている。相互利用が始まると新刊  
が小平市に流れてしまうという懸念があると思う。どちらかという国分寺市の方が  
マイナス思考が強いのではないか。

事務局： 小平市では、上水南町や上水本町の生活動線は国分寺に向いているので、その方々  
の利便性を考えた時、相互利用ができればより利便性が高まると考えている。今後も  
話し合いを続けていきたい。

委員： 平成23年度事業計画の7ページ(24)「仲町図書館改築に向けての実施設計の実施」  
について、図書館と公民館の事務室が共有になるが、具体的にはどんな配置になるの

か。まだ決まっていないのなら、いつ頃から決めていくのか。

事務局： 現在は、具体的な話には入っていないが、実施設計に入っていくとどのくらいの大きさのものをどこに入れるなど、具体的な問題が出てくるため、少しずつそれらの話が進んでいく。事務室は1階だけでは対応しきれないため、1階は受付部分、資料の受け入れ作業は地下の事務室で行うといったイメージで考えている。

委員： 基本設計の場合は住民説明会があったが、そういうものは、今回は考えているのか。

事務局： 実施設計では住民説明会のようなものは考えていない。関係団体、近隣の方々にはその都度情報提供していきたい。協議会の中でも進捗状況は報告していく。子ども文庫の関係では、役員会等でも報告していきたい。

委員： 平成22年度図書館事業報告の15ページ「小・中学校の団体貸出」の中で調べ学習の件数が、多い所も0件という所もある。学校によって差がある原因としては何かあるのか。

事務局： 一覧中の0件については、実際に学校から調べ学習用の図書の貸し出し依頼が無かったことを意味する。今後は、学校図書館協力員や司書教諭連絡協議会等を通じて、学校への調べ学習用の資料が、簡単な手続きで提供できることを周知し、資料提供が増えていくようPRしていきたい。

事務局： 学校図書館と公立図書館の連携は、第2次子ども読書推進計画で重点的に進めている。今年度は、5月20日の司書教諭等連絡協議会に学校図書館相談員や協力員にも参加してもらい、お互い顔見知りになり、今後、公立図書館から学校図書館にどのような支援があるのか周知していきたい。

委員： 平成23年度事業計画の5ページの(12)障がい者・高齢者サービスについて「ハンデキャップサービスのごあんない」という冊子を各館のカウンターに出してもらいたい。また、他の図書館のホームページを見ると障がい者サービスについての記述もあるので、小平市も配慮してもらいたい。

事務局： ハンデキャップサービスのカウンターでの配布はこれから行う予定。ホームページの件については現在、全体的に見直しの予定のため、ハンデキャップサービスの記述に関しても、わかりやすいものにしていきたい。

委員： 仲町図書館の建替えに関して具体的な話というのは、図書館側は誰が出席するのか。

事務局： 実施設計に入ると、基本的には設計業者と市のたてもの整備課が中心となるが、図書館、公民館が使用する施設なので、進めていく中で図書館、公民館の要望を随時出していく。

委員： リサイクルについて、27,000冊が今年度除籍されるということだが、蔵書が約1,200,000冊とすると、2%ぐらいになる。その反面、新規購入はどのくらいの冊数になるのか。

事務局： 今年度の購入予定冊数は、毎年度と同様に約27,000冊を予定している。

委員： 仲町図書館をよく利用しているが、書架の上の方まで本が並んでいる。安全面を考え、もっとゆとりを持って配置してはどうか。

事務局： 仲町図書館は、休館に向けて除籍を進めているが、一冊本等は調査して保存していく方向で考えている。

(2) 協議事項

特になし。

(3) その他

事務局： 前期の図書館協議会で、「仲町公民館・仲町図書館建替え方針をめぐって～人と情報の出会いの場～」の『提言』を3月末にいただいた。仲町公民館・図書館の建替えについては、すでに基本設計が完了しており、今年度から実施設計に着手する。その中で、いただいた提言を真摯に受け止め、こらからの実施設計及び運営面の検討段階でこの提言が反映できるよう努力する。

その他として、災害派遣については、教育委員会として、宮城県の教育委員会を支援している。26市の中で、今回は第1陣として小平市から1人の職員を派遣している。期間は5月9日から23日まで。宮城県庁が勤務先となり、宮城県に派遣されている東京都の教員の後方支援、管理業務を担うことになっている。派遣職員からは、県内各地の小・中学校の校舎の損壊が想像以上である等の報告を毎日受けている。